

足部創傷、廃用症候群に対する足こぎ車椅子の適用事例
秋山喜宏、亀岡恭子、松本健吾、古川雅英

Profhand(プロフハンド)は半田らが研究開発した足こぎ車いすで、片麻痺、腰痛、膝関節痛等で歩行困難でも、自身の両足でペダルをこぎ動かすことが可能である。またそれを利用したリハビリテーションにより、歩行不能の患者が歩けるようになった報告もある。我々は、片麻痺がある糖尿病性虚血性の下肢創傷の患者の治療に本機を適用し、良好な結果を得られたので報告する。

症例は 65 歳男性、3 年前に脳出血により右片麻痺となり、その後、右大腿骨頸部骨折治療後に重症虚血肢となり、右足に複数の壊疽が生じた為、約 15 週間歩行が制限された。患肢は膝関節伸展障害や筋力の低下をきたし、せん妄、保続、失行が顕著となり、認知機能・高次脳機能の低下も問題となった。

Profhand の適用が転機となり、歩行可能となり、せん妄・保続・失行も改善した。本機を利用したリハビリは運動機能の回復のみならず、精神活動の活性化に効果的であると思われた。

抄録の文字数の規定は 400 文字以内となっています。
現在、398 文字です。